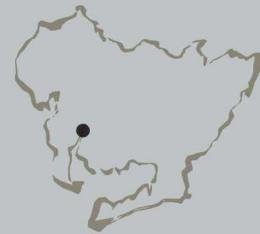


三州鬼瓦工芸品の
置物や装飾品

耐久性の高い三州瓦の製造
技術でつくられた、多彩な表
情をみせる逸品の数々。鬼板
師と呼ばれる熟練技術者によ
る1点ものは、まさに芸術品。



お問い合わせ／三州瓦工業協同組合

高浜市青木町六丁目2番地13

TEL:0566-53-1420

<http://www.sansyuu.net/>



伝統マーク
承認番号R4-153

このマークを使った金色の「伝統証紙」が貼られた製品は、経済産業大臣が指定した条件に合わせて製造され、産地組合の検査に合格した伝統的工芸品です

伝統的工芸品とは

- ① 主として日常生活に使われるもの
- ② ほとんど手作業で製造されたもの
- ③ 伝統的な技術や技法によって製造されたもの
- ④ 伝統的に使用してきた原材料を使っているもの
- ⑤ 一定の地域に生産者が集まっていること

あいちの地場産業

[https://www.pref.aichi.jp/
sangyoshinko/jibasangyo/index.html](https://www.pref.aichi.jp/sangyoshinko/jibasangyo/index.html)



愛知県経済産業局産業部産業振興課

TEL.052-954-6341 FAX.052-954-6976

あいちの
伝統的工芸品
14



三
州
鬼
瓦
品

S a n s y u
de c o r a t i v e t i l e

三州鬼瓦工芸品

伝統的工芸品指定年月日：平成29年11月30日
主な製品：鬼瓦、置物、エクステリア類等

西三河の大地が育んだ伝統的工芸品

三州鬼瓦工芸品は、主に愛知県碧南市、安城市、高浜市で生産される伝統的工芸品で、「三州」とは愛知県西三河地方の旧国名に由来する名称です。この地域では矢作川が猿投山の粘土を下流域に運び、瓦に適した良質な粘土が大量に採れたほか、配合粘土、釉薬、窯業機械などの関連産業も集まっていたため瓦産業が発達しました。海に面し海運で江戸に輸送できることもあるといわれています。

元々瓦屋根は、高価なため一部階級での使用に限られていたが、享保5年(1720年)に徳川吉宗が住宅火災を減らすため、耐火に優れた瓦葺を奨励したことによって、全国的な普及が進み、産地として発展しました。

鬼瓦は魔除けや厄除け、繁栄や富の象徴として屋根に飾られてきました。時代とともにその用途も変化し、床の間飾りや玄関飾りなど、日常的な装飾品や縁起物としても使われるようになり、近年では国宝・重要文化財などの復元も手掛けられています。

独特の発色を有すいぶし銀の美しさ

手作りによる立体造形で、瓦鎌によって切り取った粘土板を組み合わせた下地に粘土を盛りつつ、金箆等を用いて鬼面や唐草文様などを造形していきます。また、原材料の陶土には三河粘土、山土、すいひ粘土などが使われています。

製品に釉薬をかけず、約1,150度の高温で焼成することにより耐久性に優れた仕上がりとなり、「いぶし銀」という独特の発色を有するのが特徴です。

三州瓦は江戸時代から日本の瓦の三大産地(三州、石州、淡路)の一つと知られ、現在では全国の粘土瓦生産量の約70%を占める最大産地です。日本の伝統的な瓦としての文化は残しつつ、色、形、機能などは常に進化を続けています。

製造工程 | PRODUCTION PROCESS

01 型紙描き

焼き縮みを計算し図面(型紙)を描き、粘土板に図面を書きし、カマで切り付け表面を作ります。



02 土台成形

表面に側面を張り付け、裏面も表面と同じ作業で張り付けます。



03 模様の成形

表面に雲などの模様を付け土して、全体の形を造り上げます。



04 仕上げ

ほどよい堅さになったら、ヘラを使って仕上げをします。



05 乾燥

風の通らない部屋で、乾き具合の調整や表裏を返したりしつつ、1ヶ月ほどかけてゆっくりと乾燥させます。



06 焼成

1,150度前後の高温で1日から2日かけて焼成します。

撮影協力：丸市

産地案内 | PRODUCING AREA

高浜市やきものの里

かわら美術館

「かわら」をテーマにしたユニークな美術館。日本古代から近現代の瓦はもちろん、外国の瓦も展示。実際に粘土をこねて茶碗や花器をつくる体験もできます。



高浜市青木町九丁目6番地18 TEL 0566-52-3366

10:00~17:00 休館日：月曜日・火曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
<http://www.takahama-kawara-museum.com/index.html>



鬼みち

名鉄高浜港駅から三河高浜駅を結ぶ散策コース。寺社や民家の屋根、道路や壁面を彩るさまざまな鬼瓦や飾り瓦を楽しむことができます。

